

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	平成 28 年 6 月 1 日	担 当 部 署	総務管理部 行政改革推進課
-------	-----------------	---------	---------------

※以下は平成 28 年 3 月 31 日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人等名称	株式会社 みなもとの郷				
代表者名	代表取締役 内藤 潔				
	<input checked="" type="checkbox"/> 常 勤 <input type="checkbox"/> 非常勤				
	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市派遣 <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他				
所 在 地	新潟県上越市吉川区坪野 1458 番地 2				
設立年月日	平成 12 年 2 月 9 日	資 本 金	10,000 千円	市出資割合	51.0%
設 立 目 的	吉川区源地域を中心とした中山間地の産業振興を目的に、市の所有若しくは管理する不動産及び入浴施設その他の施設の管理運営を行うため。				

3 組織

(単位：人)

		理事・ 取締役	監事・ 監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	1		1	1			
	非常勤	6	1	7				7
	計	7	1	8	1			7
職員	正職員			4	4			
	臨時職員			7	7			
	パート職員等			9	9			
	計			20	20			

4 主な事業

(1) 吉川スカイトピア遊ランドの管理運営
(2) 吉川緑地等利用施設の管理運営
(3) 吉川地域バス運行事業の運行業務受託
(4) 吉川観光協会の事務受託
(5) 尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会の事務受託
(6)
(7)

5 事業実績（概要）

- ・平成 27 年度（第 17 期）の営業収益（売上高）は、46,339 千円であり、前期営業収益（売上高）との比較で 3,371 千円の増（7.8%の増）となりました。緑地等利用施設は、これまで、ゴールデンウィークに 2 日間にわたり開催していた「山菜まつり」が残雪の影響により開催できなかったことなどにより利用者数が減少した一方、スカイトピア遊ランドでは、イベントやホームページ等を活用した PR 活動に取り組んだ結果、多くのリピーターが確保できたことにより、宿泊を中心とした利用客が大幅に増加し、営業収益（売上高）の増加に繋がりました。
- ・営業費用は、材料価格の値上がりと人件費等が増加したことにより、前期との比較で 3,984 千円の増（9.3%の増）の 46,882 千円となりました。
- ・この結果、営業利益は△543 千円、最終的な当期純利益は△542 千円となり、単年度赤字を計上しました。これにより、当期末の剰余金は、3 千円となりました。
- ・施設利用者数は、スカイトピア遊ランドは、前期との比較で 926 人増（10.6%の増）の 9,645 人となり、緑地等利用施設では、前期との比較で 602 人の減（28.2%の減）の 1,534 人となり、施設全体では、324 人の増（3.0%の増）となりました。

【平成 27 年度の営業概要】

- ・尾神地区の自然や歴史、文化を活かした誘客活動と都市交流事業を推進
- ・上越市域、柏崎市域を視野に入れた体験事業の拡充
- ・地産地消を心掛けた料理の提供等によるサービスの向上

【利用実績】

（単位：人）

		平成 25 年度 (第 15 期)		平成 26 年度 (第 16 期)		平成 27 年度 (第 17 期)		
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	
スカイトピア遊ランド	宿泊	1,700	1,518	1,500	1,450	1,600	1,907	
	休憩	4,200	4,210	4,000	4,307	4,000	4,652	
	体験交流センター	入館者	2,600	2,500	2,100	2,326	2,100	2,444
		体験者	1,300	1,104	1,000	636	1,000	642
小計		9,800	9,332	8,600	8,719	8,700	9,645	
緑地等利用施設	見はらし荘	2,000	740	800	1,282	800	715	
	スーパースライダー	1,000	767	800	854	800	819	
	小計	3,000	1,507	1,600	2,136	1,600	1,534	
合計		12,800	10,839	10,200	10,855	10,300	11,179	

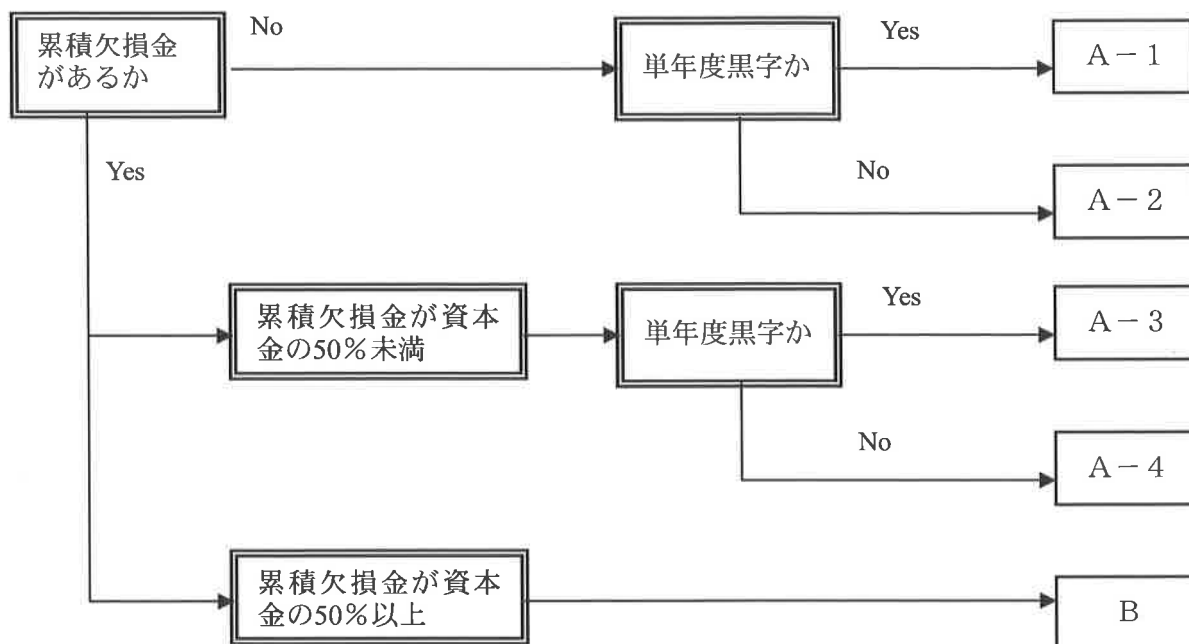
6 財務状況

(単位：千円)

項 目		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	備 考
		自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日	自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日	
損益計算書	営業収益（売上高）	42,987	42,968	46,339	
	営業費用	43,211	42,898	46,882	
	売上原価	9,789	9,436	10,996	
	一般管理費・販売費	33,422	33,642	35,886	
	営業利益	△224	70	△543	
	営業外収益	336	62	71	
	営業外費用	0	35	0	
	経常利益	112	97	△472	
	特別利益	0	0	0	
	特別損失	0	0	0	
	税引前当期純利益	112	97	△472	
	法人税等	92	90	70	
	当期純利益	20	7	△542	
項 目		平成 26 年 3 月 31 日現在	平成 27 年 3 月 31 日現在	平成 28 年 3 月 31 日現在	備 考
貸借対照表	資 産	13,117	12,586	13,009	
	負 債	2,579	2,041	3,006	
	純資産	10,538	10,545	10,003	
	資本金	10,000	10,000	10,000	
	剰余金・欠損金	538	545	3	
	その他	0	0	0	

7 経営状況の予備的診断

予備的診断フロー



評価	A-2
----	-----

評価基準		備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の場合	引き続き経営努力を行う。
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の場合	複数年の経過を注視しながら引き続き経営努力を行う。
A-3	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。
A-4	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努力を要する。
B	累積欠損金が資本金の50%以上の場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

平成27年度は、営業費用が増加したことにより、542千円の単年度赤字を計上しました。これにより、経営状況の予備的診断は、平成26年度のA-1から、平成27年度はA-2となりました。

8 市の関与の状況

(1) 市の委託額

(単位：千円)

内訳		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	備考
①	吉川スカイトピア遊ランド指定管理委託料	4,800	3,832	2,533	平成 27 年度は、市が一部経費を負担することとしたため減少
②	吉川緑地等利用施設指定管理委託料	900	1,942	1,942	
③	吉川地域バス運行業務委託料	5,059	5,081	4,996	
計		10,759	10,855	9,471	

(2) 市の財政援助額

(単位：千円)

内訳		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	備考
①	補助金（助成金）	0	0	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他（補填金）	142	142	152	シニアパスポート減免補填分
計		142	142	152	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

平成 28 年度（第 18 期）は、売上高 43,500 千円、営業利益の黒字化を目標に掲げ、次の取組を強化し施設の利用促進を図る。

- ① 越後田舎体験事業の積極的な取組や農業オーナー制度等の自主事業の拡充、スカイスポーツ大会の振興等による相乗効果により施設の利用促進を図る。
- ② 地域におけるイベントなどへの積極的な参加や企画を行い、イベント参加者から宿泊・食事・入浴等で施設を利用していただくなど、より一層の誘客に努める。
- ③ サービスの充実とパンフレットやホームページにより営業活動の強化に取り組む。
- ④ パラグライダー体験を拡充し、スカイスポーツの振興を通じて地域の魅力を発信する。
- ⑤ 尾神岳ファンクラブ等の観光関係団体等との連携を一層深め、誘客や地域活性化を図る。

【集客目標】

(単位：人)

	宿泊	休憩	体験交流センター		見はらし荘	スーパー スライダー	合計
			入館者	体験者			
平成 28 年度 (第 18 期)	1,600	4,500	2,200	650	800	800	10,550

(2) 中長期経営計画

なし

第1号議案

第17期 営業報告書

株式会社 みなもとの郷

概況等

- (1) 当社は、上越市吉川区尾神岳エリアの観光関連施設としてのスカイトピア遊ランド、緑地等利用施設の管理運営を主体として、吉川地域バスの運行業務や尾神岳スカイスポーツエリアの管理運営、加えて吉川観光協会や顕法寺城址で狼煙を上げる会、水源地域振興対策協議会、尾神岳ファンクラブ、吉川おどり隊、よしかわ里山倶楽部の各事務局を受託するなどして、地域の諸課題に対応しつつ各種事業等を積極的に展開しながら、雇用の場の創出と地域の活性化を図ることを重点目標とした経営に努めています。

しかしながら、その経営は中山間地に存するという立地条件や行き止まり等の道路条件に加え、積雪が多いという条件等からして、かつてはスカイスポーツ基地としての尾神岳観光エリアへの入込客に頼っていたものの、当エリアへの入込客の減少や地域の過疎化・人口の高齢化が進んでいることにより厳しい経営がしいられています。

このような厳しい状況を何とか打開しながら、経営の立て直しを図るために、役職員一丸となった営業努力と経費削減に努め、徐々に経営改善を図りつつ第12期（平成22年度）から第16期（平成26年度）まで黒字決算を続けてきました。

これは、スカイスポーツの愛好者が減少してきている状況を鑑み、当地の豊かな自然や地域の歴史・文化に着目し、これらを活かしながらの誘客活動と都市交流事業等の推進を図ってきた底力やHP等を活用してPRを続けてきた成果とも考えています。

また、吉川区のみならず合併後の市域全域、柏崎市域を視野に入れながらの体験事業の拡充に加え、地産池消に心掛けた料理の提供、各種サービスの向上を目指して進めてきた成果による結果、リピーター率が着実に向上してきたためと考えています。

今期についても、スカイトピア遊ランドにおけるお客様数が大幅に増加し、収入の増加が図られたものの、上越市のスカイトピア遊ランドに係る管理委託料が約34%削減されたことが大きな痛手となり、結果として今期は赤字決算を余儀なくされたところであります。

(2) 取締役会は、現段階では課題等が生じた場合にのみ必要に応じて開催することとし、定期的開催は行わないこととしている。また、特に急を要する場合は持ち回り協議等に対応してきている。昨年の株式総会以降は、7月30日、11月11日、5月11日と前期同様3回開催いたしました。

(3) ① 今期(平成27年度)の営業収益(売上高)は、46,339千円であり、前期営業収益(売上高)との比較で3,371千円の増(7.8%の増)が見られ、年度当初に計画しお示した数値(42,900千円)を大幅に上回ったものとなりました。

② 営業費用は、人件費や燃料費等の経費削減に努めたものの消費税率アップによる重圧感などもあり、46,882千円と営業収益(売上高)を上回る結果となりました。

③ 当期は、純損失として541千円が生じ、結果として赤字に転じてしまいました。

なお、今期(平成27年度)末の剰余金は2千円まで減少いたしました。

決算報告書

(第 17 期)

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

株式会社みなもとの郷

新潟県上越市吉川区坪野 1 4 5 8 番地 2

貸借対照表

平成 28 年 3 月 31 日現在

単位 円

	資 産 の 部	
【 流 動 資 産 】		
現金及び預金	4,993,104	
売掛金	748,050	
商品	1,485,662	
未収金	1,236,995	
	流動資産合計	8,463,811
【 固 定 資 産 】		
(有形固定資産)		
建物	3,450,315	
建物附属設備	37,379	
機械装置	456,345	
車両運搬具	1	
工具・器具・備品	51,636	
構築物	260,630	
	有形固定資産合計	4,256,306
(投資その他の資産)		
出資金	1,000	
	投資その他の資産合計	1,000
	固定資産合計	4,257,306
【 繰 延 資 産 】		
開業費	287,600	
	繰延資産合計	287,600
	資産の部合計	13,008,717
	負 債 の 部	
【 流 動 負 債 】		
買掛金	392,857	
未払費用	1,670,141	
未払法人税等	70,000	
未払消費税等	743,800	
預り金	129,040	
	流動負債合計	3,005,838
	負債の部合計	3,005,838
	純 資 産 の 部	
【 株 主 資 本 】		
(資 本 金)		
資本金	10,000,000	
	資本金合計	10,000,000
(利益剰余金)		

繰越利益剰余金

	<u>2,879</u>	
利益剰余金合計	<u>2,879</u>	
株主資本合計		<u>10,002,879</u>
純資産の部合計		<u>10,002,879</u>
負債及び純資産の部合計		<u>13,008,717</u>

損 益 計 算 書

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

単位 円

【 純 売 上 高 】		
売上1 (遊ランド)	40,530,295	
売上2 (見晴し・ホップル)	813,080	
売上3 (地域バス)	4,996,037	46,339,412
【 売 上 原 価 】		
期首商品棚卸高	1,514,236	
仕入1 (一般)	10,745,279	
仕入2 (タバコ等)	222,026	
合 計	12,481,541	
期末商品棚卸高	1,485,662	10,995,879
売 上 総 利 益		35,343,533
【販売費及び一般管理費】		35,886,047
営 業 損 失		542,514
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	672	
雑 収 入	70,195	70,867
経 常 損 失		471,647
税引前当期純損失		471,647
法人税、住民税及び事業税		70,000
当 期 純 損 失		541,647

販売費及び一般管理費

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

単位 円

荷 造 運 賃	20,240
給 与 賃 金	22,236,122
法 定 福 利 費	1,112,939
福 利 厚 生 費	217,038
租 税 公 課	1,214,702
水 道 光 熱 費	4,853,904
通 信 費	557,007
広 告 宣 伝 費	192,588
接 待 交 際 費	105,442
損 害 保 険 料	95,780
修 繕 費	228,048
消 耗 品 費	996,719
減 価 償 却 費	488,326
支 払 手 数 料	1,210,374
車 両 費	1,038,111
リ ー ス 料	116,309
諸 会 費	119,240
設 備 保 守 費	295,325
環 境 衛 生 費	682,091
雑 費	105,742

販売費及び一般管理費

35,886,047

株主資本等変動計算書

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

単位 円

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	10,000,000	544,526	544,526	10,544,526	10,544,526
当期変動額					
当期純損益金		△541,647	△541,647	△541,647	△541,647
当期変動額合計		△541,647	△541,647	△541,647	△541,647
当期末残高	10,000,000	2,879	2,879	10,002,879	10,002,879

個 別 注 記 表

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しております。

固定資産の減価償却の方法

定額法又は旧定額法及び定率法又は旧定率法を採用しております。

会計処理の原則又は手続の変更

消費税の会計処理は税込方式を採用しております。

II. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

7,041,869円

監査報告書

第17期決算監査の結果、貸借対照表、損益計算書および利益処分について、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

平成28年5月11日

株式会社みなもとの郷

監査役 中 村 久 人 

第18期 事業計画

株式会社 みなもとの郷

当社の経営は、中山間地に存するという立地条件や行き止まり等の道路条件に加え、積雪が多く、過疎化・人口の高齢化が急速に進んでいることにより厳しい経営がしいられています。

このような厳しい状況を何とか打開しながら経営の立て直しを図るため、役職員の協力のもと営業努力と経費削減に努めることとしています。

このため、当地の豊かな自然や地域の歴史・文化の伝統を活かしながら一層の誘客活動に努め、都市交流事業の更なる推進を図り、収入の増加につなげていきます。

また、地域バスの運行業務や吉川観光協会の事務、尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会の事務を受託するなど、引き続き地域の諸課題にも対応しつつ各種事業等を積極的に展開しながら、雇用の場の創出と地域の活性化を図りながら地域にも貢献していきます。

歴史的な東日本大震災以降の不況感や平成26年4月からの消費税率アップの影響に加え、今後更なる消費税率アップが実施されることを考えると、当地の観光産業には一層厳しさが増すものと思われれます。

当社としては、こうした影響についても充分配意しつつ、一方では、積極的な取り組みが必要であると考えています。具体的には、次のような事業等を展開しながら雇用の拡大と健全経営に努め、地域産業の拠点としての確立を目指していきます。

(1) 各種交流事業の展開

棚田オーナー事業やそばオーナー事業を継続するとともに、新しい取り組みなどについても検討を重ねる。また、市や諸団体等が行う交流事業や体験事業の拠点施設としての自覚を持ち、市並びに諸団体や地域の皆さんと連携しながら積極的に事業参画し、誘客に結びつけていきます。

(2) スカイスポーツ基地との共生

尾神岳は、スカイスポーツ基地のメッカとして知られ、県知事杯や市長杯、観光協会長杯パラグライダー大会などの各種大会が毎年開催されています。尾神岳スカイスポーツエリアの振興を図りつつ、全国各地から集まるスカイスポーツ愛好者を介したPRにより誘客に努めていきます。

特に、本年は県知事杯の第30回記念大会が予定されているため、フライ

ヤーの育成やパラグライダーの初心者体験、観光フライトの推進に努め相乗効果を高めていきます。

(3) 農業体験や各種体験事業の展開

農業体験はもちろんのこと、そば打ち、おやき、ちまき、アイスクリーム、米粉ピザなどの食体験や草木染め、竹細工、わら細工、あけびのつる細工、木工細工、自然観察など各種体験事業のさらなる拡充と積極的な取り組みを推進していきます。

また、引き続き越後田舎体験関係事業にも積極的にかかわり、地域との連携を深めながら誘客に結び付けていきます。

特に、吉川ならではの「パラグライダー初心者体験」を越後田舎体験事業の一環としてメニュー化し、誘客に努めていきます。

(4) 各種イベント等の取り組み

市並びに各種団体の企画された事業やイベント等に積極的に参加するとともに、通年誘客の一環として独自のイベントなども開催する。

春は「山菜祭り」や「山菜採りツアー」、夏は「焼き肉大会」、秋は「新そば祭り」、冬は「雪祭り」、その他、分館単位の高齢者を対象とした「ふれあいお楽しみ会」、「冬季限定料理メニュー特別企画コース（1月～3月間）」「よしかわ杜氏の郷の新酒を楽しむ会」などの各種イベントを積極的に取り組む。

また、団塊の世代の退職者を対象にした各種イベント等の取り組みを検討し実施していきます。

(5) 経営の改善について

- ① 職員の研修機会を増やし、接客サービスの拡充に努めていきます。
- ② 資材・食材等の仕入れの点検を行い仕入ロスの減少に努め、節電・節水等にも極力対応していきます。

(6) 施設の改修・修繕等について

入館者の安全と利便性等を確保するために、玄関の自動ドア改修や電話回線の改修、冷暖房設備等の修繕について引き続き市と協議し進めていきます。

また、施設の運営上欠かすことのできない除雪機や草刈機等については、これまでは止むなく当社で対応してきたものの、引き続き市の対応をお願いしていきます。

(7) その他の取り組み

- ① 休憩に訪れる日帰り客へのサービス向上のため、昼食メニューの更なる拡充等を図っていきます。
- ② 地域との連携により、地場産品や特産品、山菜などの「お土産」や売店業務を拡充していきます。
- ③ 特徴ある食材や地場産品の確保に努め、お客様のニーズをつかみながら地域料理（田舎料理・薬膳料理等）を主体に提供していきます。
- ④ 尾神岳を訪れてくれる人達が、ゆっくりと自然に親しむことができるような森林空間として「遊歩道」や「山頂広場」「探索の森」「遊休地活用型園地・小動物園」の整備などを継続して進めていきます。
- ⑤ 越後田舎体験事業や各種オーナー事業を進める上で、農地問題や農業の担い手等の地域課題が発生している。また、遊ランド周辺の農地の荒廃が急速化するなど、環境問題を含めて解決して行くため、体験型の観光農場の整備等についても地域の皆さんと協力し合いながら進めていきます。
- ⑥ IT化社会に対応するため、ホームページや各種PRサイトを有効に活用し、より一層の誘客活動に努めていきます。
- ⑦ お風呂に鉱泉を利用した温泉サービスの試行を続け、地域資源の活用を図りながら健全経営に結び付けていきます。
- ⑧ 観光関係団体等（尾神岳ファンクラブ、吉川おどり隊、よしかわ里山クラブ、尾神岳エリア委員会等）との連携を一層深め、誘客につなげ地域の活性化にも結びつけていきます。
- ⑨ 地元の吉川ゲートボール協会の協力により、昨年10月に開催した「遊ランド杯ゲートボール大会」を年間行事として定着させ、誘客に結びつけていきます。

(8) 今後のテーマ

- ① 当社では、その経営状態からして役職員の待遇等については劣悪な状況を余儀なくされてきている。今後は、こうした面での改善も図りながら地域雇用の安定化を進めていくことをテーマとしていきます。
- ② 当社の今後の有り方等を充分検証しつつ、Jホールディングス㈱との協議・研修等を重ね、参入の方向性を視野に入れながら引き続き検討していきます。

第18期 収支計画

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(収入の部)

単位:千円

科目	本年度計画額	前年度計画額	増 減	備 考
利用料金	29,500	28,500	1,000	入浴(日帰り)、宿泊、体験交流、食堂スライダール等の利用料金
受託料	9,471	9,552	-81	指定管理者受託料
雑収入	4,527	4,304	223	売店、自動販売機売上、自主事業収入
前年度繰越金	2	544	-542	
合計	43,500	42,900	600	

(支出の部)

科目	本年度計画額	前年度計画額	増 減	備 考
給料賃金	20,500	19,000	1,500	
法定福利費	900	840	60	社会保険料、労働保険料
福利厚生費	200	300	-100	通勤手当、職員研修費
租税公課	1,000	850	150	法人税・住民税・消費税
諸会費	100	100	0	商工会費、食品衛生会費
仕入	10,260	9,500	760	
水道光熱費	4,750	4,850	-100	水道、電気、ガス代
旅費交通費	30	50	-20	
通信費	470	470	0	電話代、切手代等
広告宣伝費	180	220	-40	広告掲載料、HP作成費等
接待交際費	50	50	0	
損害保険料	100	160	-60	火災保険、食中毒保険
修繕費	200	300	-100	設備修繕料
消耗品費	800	850	-50	消耗品等
減価償却費	400	410	-10	
車両掛費	1,200	1,500	-300	車燃料代等
支払手数料	1,200	1,400	-200	記帳指導料等
環境衛生費	600	600	0	
設備保守料	280	500	-220	浄化槽、消防設備等
賃借料	100	700	-600	車両、設備リース
雑費	100	150	-50	除雪費、テレビ受信料他
予備費	80	100	-20	
合計	43,500	42,900	600	